

北国の自然と生き物



士別の気候は、四季の変化がはっきりとした内陸性気候で、5月から9月上旬までは比較的高温多照に恵まれますが、気温の日較差や年較差が大きいのが特徴です。11月中旬頃から降り始める雪は、平地でも1m、山間部では2mを超えるなど、1年の半分近くの期間を雪で覆われた積雪寒冷な豪雪地帯となっています。ダイヤモンドダストやサンピラー現象、霧氷（樹霜）など、北国特有の自然現象を見ることができます。



士別ではその寒冷な気候により、北方系の動植物が多く生息しています。例えば、クジャクチョウやコヒオドシといったチョウは本州では高地で見られますが、寒冷な気候の士別では、平地でも一般的に見ることができます。また、トビのように他の地域では留鳥として知られている野鳥が、厳冬期には一時的に士別から移動する場合がありますなど、その厳しい寒さはこの地に暮らす生き物の生態に大きな影響を与えています。

